

(仮称)宇都宮市道路見える化計画(素案)に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 平成20年1月24日(木)～2月13日(水)

(2) 意見の応募者数・件数 4名(13件)

【男女内訳】男性 2件, 女性 1件, 不明 1件

【年代内訳】30代 1件, 40代 1件, 70代 1件, 不明 1件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数		3	1			4

2 意見の概要と市の考え方

① 計画全体について(3件)

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	道路見える化計画に関して、パブリックコメントを募集する手法は、道路整備計画を作成するために大変有意義であるので、今後も続けていただきたい。	今後も、計画の見直し等を行う際には、市民の皆様からのご意見を施策に反映していくため、アンケートやパブリックコメントの実施について検討してまいります。
2	道路の課題をデータで把握して市民に明示し、効率的な道路行政を進めていくことは大変重要だと思う。 今後も、地域住民、道路利用者の意見を踏まえ、効果的かつ早期に実現可能な計画をしてほしい。	今後も、データの把握などとともに、市民の皆様や道路利用者のご意見を伺いながら、効果的で実現性の高いみちづくりに努めてまいります。
3	「道路見える化計画」作りには、地区住民の意見を取り入れてしかるべき道路と、大所から交通の基幹となる道路とを分けて扱うべきで、毅然とした道路交通行政の確立を期待したい。	対策箇所を選定にあたっては、アンケートによる市民ニーズだけでなく、上位計画や都市計画などの根幹的な必要性に関する評価も行っており、道路の規模、機能に応じた選定について、配慮しております。

② 具体的な対策について（８件）

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	大谷街道の作新学院以西は、歩道が狭く、自動車の交通量も多いため、特に自転車の走行が危険と思われる。ぜひ、安全性向上のため、車道や歩道を拡幅するような対策箇所に加えてほしい。	本計画は、市道を対象としているため、大谷街道は対策箇所に含めておりませんが、ご指摘の区間は、移動性や安全性の向上のため、栃木県において一部拡幅事業に着手しているところです。
2	代表的な対策箇所には含まれていない箇所についても調査を進め、安全で快適な生活を送れるよう、最適な対策をしてほしい。	対策箇所以外についても、取得したデータを基にパトロールなどの調査を行い、安全・安心なまちづくりのための継続的な取組みを進めてまいります。
3	災害時に必要な道路を整備する必要がある。災害時のシミュレーションデータなどが示されると、早急に必要な安全・安心な暮らしを支える道路の整備箇所が見えてくると思う。	災害に強いまちづくりを進める上で、道路の果たすべき役割は大きいと考えております。今後も、これまで以上に防災に関するデータを用いて、事業箇所の選定等に努めてまいります。
4	「移動性向上のための対策箇所」があまりに少なく感じる。市民にとって「期待する、必要な道路の整備」は、まだまだ多くの課題・要望があると認識しており、そのため、ガソリンに係る特定財源の暫定税率は今しばらく確保・維持されるべきであり、不断の努力をお願いしたい。	本市においては、都市計画道路や幹線市道などの整備すべき道路は、まだまだ数多くあるものと認識しております。このため、様々な機会を通じて、国に対し暫定税率の維持を要望しているところです。 今後も、本計画における対策箇所をはじめ、様々な市民ニーズに応じていくための道路整備を推進してまいります。
5	道路整備の効果には、部分的な整備であっても、交通の要所の改修で、渋滞解消に大きな効果を発揮できるものである。	対策箇所については、抜本的な拡幅だけでなく、短期間でできる有効な対策の実施なども検討し、課題解決に必要な、箇所の現状に応じた効果的な対策を行ってまいります。
6	「清住町通り」は、停車や右折車があっても通過できる車線幅での早急な整備が必要である。	「清住町通り」の周辺は、土地区画整理事業の区域に入っており、地区の整備を進めるなかで、都市計画道路の整備をはじめとした道路交通環境の改善を図ってまいりたいと考えております。

7	「道路維持課」を積極的な名称に変更し、単に現状を維持することを目的とするのではなく、「交差点改良や待避所」など部分改良によるグレードアップをする対策を計画に加えてほしい。	本計画における対策の実施にあたっては、維持的事業に限定せず、改良、グレードアップを含め、移動性や安全性の向上のための適切な対応を検討してまいります。
8	渋滞の先端部に必ず理由・原因がある。道路そのものの容量不足、交差点機構の不具合、信号機の不適切な管理などがある。渋滞箇所の理由を明らかにして、その原因を早期に排除すべきである。部分の改良であっても大きな効果を発揮するはずである。	渋滞対策を行うにあたっては、現地調査やデータ収集などにより渋滞原因を調査し、部分的な改良による効果予測なども踏まえ、課題の解決に必要な最適な対策を講じてまいります。

③ みちづくりの取組みについて（1件）

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	中心市街地の役割・地位の低下の最大の理由は、宇都宮市の道路網整備の遅れと駐車場対策にあると考えている。宇都宮市の道路づくりは、あまりに遅れているとの認識に立って施策づくりをし、可能な限り早期に、根幹となる路線の整備を始め、緊急を要する必要箇所・部分の改良を進めてほしい。大型バスによる循環型の公共交通に対応できる道路網の構築を実現してもらいたい。	都市計画道路をはじめとした幹線道路網の整備は、これからも積極的に進めていくべきと考えております。 今後も、調和のとれた交通環境が実現されるよう、骨格となる幹線道路の整備や生活道路の改良など、さまざまな道路整備を効率的、重点的に実施してまいります。 また、公共交通ネットワークの充実に向けた、利便性の高い道路網の構築にも努めてまいります。

④ 国や県との連携について（1件）

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>道路網整備の計画を作るに当たっては、市全域を俯瞰してほしい。市民は、ただ単純に、目的に向かって、最短距離をスムーズに、快適に、安全で、短時間で到達できるよう望んでおり、国道・県道・市道のいずれであろうが短距離の道路を選んで走りたいのである。</p> <p>市道整備については、国・県道を合わせた道路網として課題等を把握し、それぞれがどうするのか検討して計画を示すべきである。この素案には、「国・県道との連携（整備要望）」の内容が具体的にないため、「市域の道路整備の展望が見えない」ものになっているのではないか。</p>	<p>市域の道路ネットワークの構築にあたっては、道路利用者に満足される道路網整備に努めるとともに、道路網としての課題を国・県・市が共有し、これまで以上に連携しながら、各道路管理者としての役割を果たしていくことが重要であると考え、本計画にその取組みを位置づけたところです。</p> <p>具体的には、対策箇所における各道路管理者の連携した対策等の取組みや、データに基づく整備や改良の要望などについて行っていく予定です。また、市民の皆様へ本計画をPRしていくため作成するパンフレットにおいても、国や県の対策を併せて記載するなどの配慮により、それぞれの取組みを総合的にお示ししていきたいと考えております。</p>